

令和6年能登半島地震による災害支援を目的とした

ふるさと納税の「代理寄附」について

<市長コメント>

本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により甚大な被害を受け、東日本大震災の際に御支援をいただいた石川県珠洲市、輪島市、志賀町に対しまして、被災自治体の事務負担を軽減し、災害対応に注力していただき、一日も早い復興の一助につながるようふるさと納税の「代理寄附」を行ってまいりましたが、本年3月31日をもって、寄附受付を終了いたしました。

全国の皆様から寄せられました寄附金の総額につきましては、2,456件で51,934,106円であり、必要経費を差し引いた送金総額は、51,208,462円となりました。

その内訳といたしまして、

珠洲市に 30,663,634円

輪島市に 17,555,055円

志賀町に 2,989,773円

でございます。

寄附金につきましては、5月2日に送金を行うとともに、寄せられたメッセージ343件を送付いたしました。

被災されました自治体におかれましては、復旧・復興の真っ只中で大変御苦勞されていると思いますが、1日でも早く日常の生活を取り戻せるように御祈念申し上げます。